

試験観測

- ✓ 2022/09/21-26: エンジニアリングファーストライトを達成。
- ✓ 2022/11/14-20: 2 台の分光器を同時運用し 1 回の露出で ~1200 本のスペクトル取得に成功。
 - 比較的暗い星や銀河を観測対象とし、長時間積分の試験を始めた。11 月の観測では 5400 秒(900 x 6)積分を行った。
- ✓ 2022/12/15-18, 2023/02/17-20 にあった試験観測は残念ながら悪天候に見舞われた。

ハードウェア敷設

- ✓ 2022 年 11 月上旬に2台目の分光器の設置・立ち上げを完了。
- ✓ 2023 年 2 月上旬には 3 本目のファイバーケーブルの望遠鏡・ドームへの敷設を完了。
- ✓ 3/14 JST にすばるへ最初に輸送する近赤外カメラの輸送前レビューを開催。

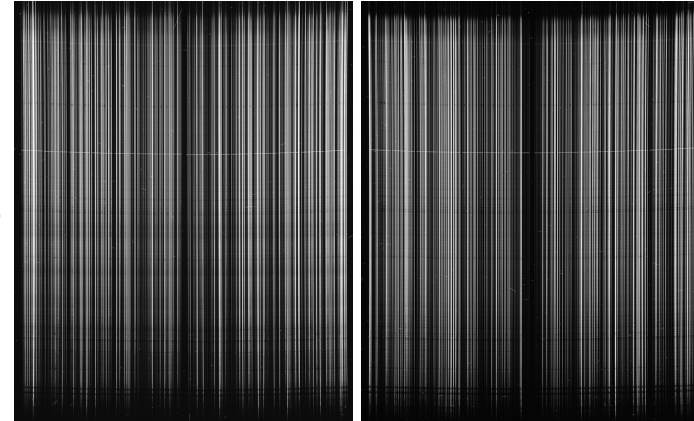
性能評価関連

- ✓ ファイバー配置精度は現在 50um 程度。並進・回転・スケール誤差によるエラーが支配的。
- ✓ パイプラインの試験、問題の洗い出し、開発、と並行して、スカイ引きの精度検証や装置スループット測定のための解析を行っている。

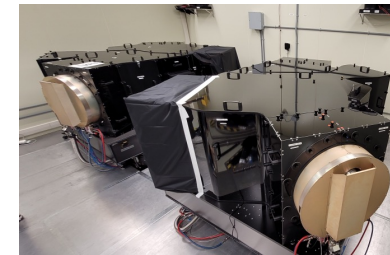
今後の予定

- ✓ 3 月末から 4 月上旬にかけて近赤外カメラの敷設を行い、4/19-5/2 の試験観測で近赤外ファーストライトを目指す。
- ✓ 5 月(TBC)に 4 本目(最後)のファイバーケーブル敷設予定。
- ✓ 7 月半ばまでに残り 2 台の分光器を搬入し、7/18-27 の試験観測から S23B にかけてフルシステムでの観測を行っていく。
- ✓ S24Bからの科学運用開始が目標。

● コラボレーションへの参加登録はこちら: https://pfs.ipmu.jp/research/regist_collab.html



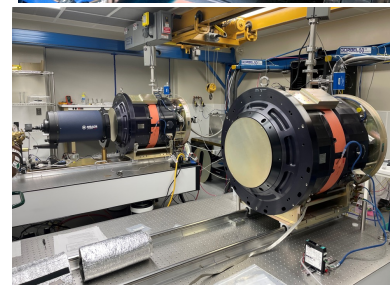
2022 年 11 月の試験観測で取得した SM1, SM3 青カメラ検出器画像。NGC 1980 領域、300 秒積分。



クリーンルームに敷設された2台の分光器。奥が SM1, 手前が SM3。



望遠鏡スパイダー赤外・フロント側に取り付けられた PFS ファイバーコネクタ。3 本のケーブルに対応して 3 組ある。



JHU のクリーンルームで試験中の2台の近赤外カメラ。奥が、像質確認用前光学系のついた SN2、手前が SN3。